

氏名	
----	--

点数		点/100点
----	--	--------

各論演習 27-1

問1)

次の取引について、①×1年度末および②×2年度末の仕訳を示しなさい。

(資料)

1. ×1年度期首。従業員に対して100個のストック・オプションを付与した。権利確定日は×3年度末であり、付与日における公正な評価単価は3,000円、失効見積数は5個であった。
2. ×1年度期末。失効見積数を6個に見直した。
3. ×2年度期末。失効見積数を8個に見直した。
4. 各年度の費用計上額は、対象勤務期間を基礎に均等配分する。

解1)

単位：円

① ×1年度末

借方		貸方	

② ×2年度末

借方		貸方	